



紅白に分かれて砂山づくり、ふたつの山は川でつながりました。

古多鎌こぼと保育園にて

しべっ 議会だより

6 月定例会

第127号

平成20年8月1日

〈特集〉 標津町の子育て支援策は……3

条例改正	滞納整理機構に加入…………… 2
一般質問	支庁再編、縮小地域に痛み押しつけ… 4～6
町民の声	後期高齢者医療制度、議会は無視か… 8

補正予算

補正予算の状況 (単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	58,450	5,380,126
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	5,365	884,563
介護保険特別会計 (サービス事業勘定)	862	30,815
後期高齢者医療特別会計	1,324	101,665

○不動産売却収入 36,419万円
※標準津川左岸築堤工事に伴う土地等の売却収入

○地域新エネルギービジョン策定事業調査委託料 620万円
※地熱・太陽光・風力を利用した具体的な検討に着手する。全額補助。

○リフレッシュ基金積立 642万円

○酪肉経営振興対策基金積立金 1,000万円

○緑の基金積立金 1,000万円
※いずれの積立金も町各地等の売却収入から。

人事案件

○農業委員会委員の推薦
議会から吉田浩一議員を推薦することに同意。

意見書

2009年度国家予算編成における義務教育無償、義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率2分の1還元等教育予算の確保・拡充を求める意見書
提出者 大垣勇議員

※なお、大垣勇議員から、提出されていた他の1件の意見書は、当日、本人により、取り下げられました。

人事案件

固定資産評価審査委員の選任に同意。

氏名 田村 幾子
生年月日 昭和23年9月25日
住所 北1条西2丁目3番4号
任期 平成20年6月1日から平成23年5月31日まで

条例

まちの きまりが変わります。 滞納整理機構に加入

町税などの滞納が年々増加し、その縮減が緊急の課題となっています。
職員は住民にとって身近な存在であることから、差し押さえや公売などの強制的徴収に難しさがありました。
釧路・根室広域地方税滞納整理機構に加盟することにより、厳しく・迅速に徴収することが期待できる。来年度からスタートすることになります。

ふるさと応援寄附条例

標津町のまちづくりを応援する人々から寄附金を募り、それを財源に寄附者の町への思いを具体化することにより、多様な人々の参加による個性豊かで活力あるまちづくりを実現するものです。
寄附者はふるさと応援町民。

条例

国民健康保険

国民健康保険税課税限度額の変更

区分	現行	改正後
医療分	56万円	47万円
後期高齢者支援等分	—	12万円
介護分	9万円	9万円

寄附金税制の改正

共同募金会・日赤に対する寄附金控除額
適用下限度 現行 1万円を5千円に改正

個人住民税における住宅ローン特別控除の申告

所得税額を軽減する特例措置が適用

省エネ改修住宅の固定資産税の減額

窓・床・天井・壁の省エネ基準に適合すると3分の1を減額

第2回臨時会

町税

特集

標津町の 子育て支援策は

小学校入学前に利用できる施設

施設名	定員	入園条件・利用対象
茶志骨みどり保育園	30	①家庭内、外労働で両親がその幼児の保育が出来ない場合
古多織こぼと保育園	30	②親のいない家庭
双葉保育園	90	③母の出産等
つくし保育園	45	④病人の看護等
		⑤家庭の災害
標津幼稚園	70	満4歳から小学校就学前の始期に達するまでの幼児
川北幼稚園	30	満5歳から小学校就学前の始期に達するまでの幼児
キラリ児童館	70	小学校3年生までの児童
川北児童館	70	小学校6年生までの児童

状況下で町民の就労の場の拡大と、町民が安心して出産することができ、安心して子育てができる環境が必要です。数人の議員が、いろいろな観点から一般質問や委員会審議等での発言が多くありますので特集しました。

人口が減少している



保育料等

(単位：円)

	標津町		幼稚園	中標津町(参考)		幼稚園
	保育料(3歳未満)	保育料(3歳以上)		保育料(3歳未満)	保育料(3歳以上)	
所得税が10万円の家庭	26,500	23,000	入園料 3,000	44,500	41,500	入園料 3,000
所得税が20万円の家庭	33,000	29,000	授業料 5,500	61,000	58,000	授業料 10,000
所得税が50万円の家庭	40,000	34,000		80,000	77,000	

保育料は、市町村により計算方法が異なります。所得税を納付している家庭について調べました。生活保護世帯、所得税を納付していない家庭、2人以上の保育料等は別に定めがあります。

保育料等は

議員の

いろいろ調べていると、町民が子育ての相談をする窓口の一本化が必要だと感じました。

- 〇健康に育てたい
- 〇必要情報がほしい
- 〇制度を知りたい
- 〇様々な体験をさせたい
- 〇子育ての悩みや不安を
- 〇安心して子供を産むために
- 〇子育ての悩みや不安を
- 〇安心して子供を産むために

こんな時どこに

一般質問

Q

&

A

3人の議員が7項目にわたり町長・教育長に質問を行いました。

支庁再編、縮小地域に痛み押しつけ

格下げの影響大、地域活力の低下



小川悠治議員

Q 道議会で審議されている支庁の統合・再編案では、釧路・根室

地方は道東総合振興局（釧路市）と根室振興局（根室市）となり、根室支庁は格下げの出先機関と位置づけられ、釧路の総合振興局に吸収される。道財政ひっ迫は理解するが、財政的理由から弱小地域のみを痛みを押し付け、結果として地域の疲弊を加速させる。

標津町への影響も含めて町長の見解は。

A 根室市だけでも職員160名とその家族が減少。税収や消費経済が落ち込むなど地域活

力の低下に直面する。標津町も影響は大きい。釧路・根室が一つになると標津は大きな地域に埋

没する恐れがある。格下げにより地域のイメージもダウンする。中標津空港の利用者が減り、新千歳便の復活にも影響する。標津町の位置付けをしっかりと確保し、強い産業と自治体づくりを進める。



あきあじ漁を待つ定置網起し船

道から標津町への権限移譲は道内トップクラスで、職員も大変だが、これ無しに標津町の生きる道はない。釧路市集中は併もあり得ない。ある程度仕方がないが、補完都市としての根室市・中標津町への二極分散も過度に過ぎると将来的合併もあり得ない。

釧路から遠隔操作、水産振興策の後退に

サケ・マスの増殖管理に不安

Q 根室管内の基幹産業は水産と酪農である。歴代の支庁長は、一次産業分野の出身者が多く、産業振興策は支庁と市町村が一体となつて取り組んできた経緯がある。再編は、単に釧路支庁からの遠隔操作との感じで産

業振興策が後退するとの不安が残る。

A 司令塔は釧路でいいのか疑問。サケ・マスなど海洋資源管理に不安。町内の道の水産技術普及指導所や漁連や系統団体の動向も懸念される。

見えない一市四町の連携

振興策確保の会議7月にスタート

Q 根室支庁存続を求める運動が根室市に限定しているように感じる。管内1市4町の連携はどうなっているのか。

A 4町の温度差はあるが標津町は十分連携。4町連名で存続を求める要望書を道に提出済み。再編に関係なく支庁・開発・土現・1市4町で構成する地域振興策確保のための会議が7月よりスタートする。

改正自治法の対応について

議会と十分相談して



安達 議員

Q 今般の国会で地方自治法が改正された。分権が進展する中、

地方が果たす役割は大きく、とりわけ議員の担う重責も高まっている。今までの活動の他に、各派代表者会議や議員協議会、広報や図書運営委員会、正副委員長会議など規則に定めれば議会活動として明確になりました。

A また、議員報酬も自治法203条第1項から分離されました。今後町長として予算措置も含めどう対応して行くのかお伺い致します。

A 地方自治法が一部ですが改正されました。

た。改正されてから3ヶ月9月17日までには施行されるものと思う。十分議会と相談しながら法律のまだ見えない部分もあるので注視しながら対応して行きたい。

Q 昨年からの地方分権行財政改革特別委員会で議論してきました広報特別委員会の活動費はこの法律で認められるのではないかと思うが。

A 議会の意志を最大限付度して行きたい。



議員活動の充実が一層求められる

人口減少、新産業立ち上げをスピード感をもって取り組む



新産業にチャレンジ!! そば畑と田村代表

Q 標津町は古来より1次産業を基幹産業として発展し、また、2次産業3次産業も育ってきました。

しかし、ここ数年人口の減少が著しく昨年度は109人もの減少をみました。さまざまな政策を講じてきましたが、歯止

がかかっています。最緊急課題ではないかと思いますが、現状をどう見て、改善方策があるか。

また、海、山、川、平野を活かした新産業立ち上げを考えてはどうか。

A 昨年4月、人口6,000人を割り危機感をもって。減少要因は平成15年までは出生人数が死亡人数を上まわっていたが、16年から逆転し減少してきた。また、18才〜22才までの学卒者の住所移転が毎年50人位あり、加えて転勤転職などもあり昨年度は1000人を越えた。公共事業の減少も拍車をかけている。

そこで若者対策が最も重要で雇用の場作りにはスピード感を持って力を入れていく。

クラスター研究会、ベンチャー企業立ち上げ、食品産業や海、山、川、平野を活かしたエコ・ツーリズムにも力を入れていく。

Q 20年度は国、道など各省市で地方活性化のために予算措置が多く出ている。産業立ち上げの起爆剤にしてみたい。

A 標津町は国・道の補助には貧欲に取り組んでいると思っています。来年から農村漁村活性化プロジェクトを申請している。農地改革やA団地跡地利用、バイオ産業などこれらは少し時間をかけながら勉強していきたい。

Q 川北地域で異業種有識者数人でそば作りを始めました。単にそばを作ろうというだけではなく心を耕し、思いを育て大きな夢を得ようと動き始めたものと思いい新しい産業立ち上げになるのでは。

A 農産物、魚を含め隙き間産業をどう育てて行くのか、資源は沢山ある。どう活かすのか、NPO法人など出来ないか考えてい。

認定こども園の実施は

課題の整理に取り組む



吉田浩一議員

Q 若年層流出の歯止めとなる政策に子育て支援が重要と考えます。

安心して産み・育てられる環境づくり、住民ニーズに積極的に対応することが求められている。①保育料は国の基準の半額程度に抑えられています。②保育時間を朝・夕15分間延長させて、送迎時間に余裕を持たすべきと思うが、又、夜間の保育に対応する考えは、③一時預かり保育に対応すべきである。④公共施設に授乳場所の

配慮が必要ではないか。⑤川北児童館の専用トイレ・手洗い場所・常勤の専任指導員体制など、内容の充実を進めるべき。

⑥入園要件により保育園に入られない幼児を「認定こども園」制度によって社会的に支援する体制づくりを進めるべき。

A 子育ては町の責務でもあり、住民要望も強いと感じています。財政事情も厳しい現実ですが標準版エンゼルプランを進め、取り組める部分は今後、早めに組み立てていきたい。

①保育料の改定は今年度は見送りし、効率的運営や運営費の節減を図るなかで検討していく。②職員の就業時間、朝7時30分から夕6時まで



あいさつは生活の原点

町民ぐるみに期待

Q 私たちが日常の生活の中で明るく・うるおいに満ちた瞬間に挨拶の時間があります。

多数社会の中の一員として、人を尊敬し・自分も尊敬される存在感のある人間関係こそ、共同社会の原点であり、明るい・交流のまちづくりの礎となるものです。

今一度、人間性の失いかけた現代社会に心のこもる挨拶から、町民ぐるみで取り組むことを進めましょう。

A 学校・健全な青少年を育てる町民の会・町内会など、「オアシス運動」を展開して、一定の成果が上がっております。また、町外から来る人にも評価をいただいています。

しかしながら、身近には、まだ不十分な現実も見られますので、町民一人一人の意欲に期待すると共に、役場から率先して心掛けるように努めていきます。

の範囲で対応したい。夜間保育はニーズなど検討していきたい。

③保育園・児童館共に難しい。今後の課題とさせていきたい。④公共施設はほぼ授乳できている状態であるが、なお、対応できる環境づく

くりを進めます。⑤現行の施設・指導員体制で対応したい。

⑥入園要件の緩和に対応した認定こども園の実施については様々な課題の整理が必要のため、検討していきます。

委員会の動き

総務産業常任委員会
文教福祉常任委員会

総務

経済

〔調査事項〕

★町有地の有効活用について

★産業環境・防災林・景観林について

★美郷団地の定住促進について

第1回（2月22日）

平成20年度企画政策課所管予算について他9件

第2回（5月19日）

釧路・根室広域地方税滞納整理機構加盟にかか
る事前処理等について他
3件

第3回（6月17日）

標津川左岸引堤に伴う
財産処分について他1件

北海道町村議会
議員研修会

平成20年度の研修会が7月1日札幌市で開催され、標津町議会から、議長と常任委員4名が参加しました。

【研修内容】

「分権改革と地方議会のこれから」

朝日新聞編集委員

坪井 ゆづる氏

議長と議会は『車の両輪』と言われているが、「議会



の承認を得ている」との首長の言い訳に使われてはダメ。地方議員は分権社会の主役であり、改革の担い手としての自覚が必要である。

「混迷する政局と日本の進路」

政治評論家 三宅久之氏

今後、日本における最大の政治課題は「人口の減少対策」である。現在の出生状況では、人口の減に歯止めがかからず社会が成り立たなくなる。

文教

福祉

建設

【調査事項】

（～6月30日まで）

★介護保険制度に関して

★標津川自然復元川づくり計画に関して

★標津高等学校存置対策に関して

●第3回（4月3日）

道外研修について

●第4回（5月20日）

所管課等協議報告事項、調査事件

①釧路・根室広域地方税滞納整理機構加盟にか

かる事前事務処理等について

②崎無異育成牧場の運営

について

③鳥インフルエンザにつ

いて

④平成19年度標津福祉会決算報告について

⑤標津高等学校存置対策に関してほか

⑥介護保険及び後期高齢者医療制度に関して

⑦公共事業の平準化に関して

⑧人口変化と高齢化及び産業別就労動態に関し

て

⑨5年経過後の合併状況について、美しい村に認定された経緯について

て



●第5回（6月17日）

所管課等協議報告事項

①平成20年度教育費第2号補正予算について

②標津川左岸引堤に伴う財産処分について

③ふるさと納税への対応について

④新エネルギー詳細ビジョン策定への取り組み

について

⑤町内行政視察について

⑥標津福祉会の物件費用状況について

議員の出欠状況

(平成19年度)

出席……○
欠席……×

【定例会】 議員11人

年月日	氏名	大垣	神内	藤巻	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中	片岡
19. 6. 21	第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 6. 22		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 9. 20	第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 9. 21		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 12. 19	第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 12. 20		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 3. 11		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 3. 12	第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 3. 18		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【議会運営委員会】 委員5人

年月日	竹野	吉田	田中	千葉	小川
19. 5. 9	○	○	○	○	○
19. 6. 14	○	○	○	○	○
19. 9. 13	○	○	○	○	○
19. 12. 12	○	○	○	○	○
19. 12. 25	○	○	○	○	○
20. 3. 4	○	○	○	○	○

【文教福祉建設常任委員会】 委員5人

年月日	小川	藤巻	木下	吉田	竹野
19. 5. 9	○	○	○	○	○
19. 6. 14	○	○	○	○	○
19. 7. 12	○	○	○	○	○
19. 7. 31	○	○	○	○	○
19. 9. 4	○	○	○	○	○
19. 9. 13	○	○	○	○	○
19. 9. 21	○	○	○	○	○
19. 12. 3	○	○	○	○	○
19. 12. 12	○	○	○	○	○
19. 12. 27	○	○	○	○	○
20. 1. 16	○	○	○	○	○
20. 2. 22	○	○	○	○	○

【総務経済常任委員会】 委員5人

年月日	千葉	大垣	神内	安達	田中
19. 5. 9	○	○	○	○	○
19. 6. 14	○	○	○	○	○
19. 8. 10	○	○	○	○	○
19. 9. 13	○	○	○	○	○
19. 12. 12	○	○	○	○	○
20. 2. 22	○	○	○	○	○

【臨時会】 議員11人

年月日	氏名	大垣	神内	藤巻	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中	片岡
19. 5. 9	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 11. 26	第3回臨時会	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
19. 12. 27	第4回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 1. 16	第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【広報特別委員会】 委員4人

年月日	吉田	小川	大垣	安達
19. 5. 9	○	○	○	○
19. 6. 22	○	○	○	○
19. 7. 9	○	○	○	○
19. 7. 20	○	○	○	○
19. 9. 21	○	○	○	○
19. 10. 12	○	○	○	○
19. 10. 22	○	○	○	○
19. 12. 20	○	○	○	○
20. 1. 16	○	○	○	○
20. 1. 23	○	×	○	○
20. 3. 18	○	○	○	○

【予算審査特別委員会】 委員10人

年月日	千葉	藤巻	大垣	神内	小川	木下	安達	吉田	竹野	田中
20. 3. 11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 3. 12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 3. 13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 3. 14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 3. 18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【決算審査特別委員会】 委員9人

年月日	吉田	小川	大垣	神内	木下	安達	千葉	竹野	田中
19. 9. 21	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 11. 12	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 11. 13	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 11. 15	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 11. 16	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 11. 20	○	○	○	×	○	○	○	○	○

【全員協議会】 議員数11人

年月日	大垣	神内	藤巻	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中	片岡
19. 5. 9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 6. 14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 6. 22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 11. 16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19. 12. 27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 2. 18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【地方分権・行財政改革問題等特別委員会】 議員数10人

年月日	木下	神内	大垣	藤巻	小川	安達	千葉	吉田	竹野	田中
20. 1. 16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 2. 18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 3. 18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

後期高齢者医療制度は全国で大変なことになっていて、全国1、800自治体で575市町村議会(33%)で見直し、廃止の反対決議がされているのに標津町議会はウンでもスンでもない。
対象者は698人(12%)もいるのに議会は無視している。
後期高齢者の終末期は余命宣告をめぐって仁術医で有名の大野院長先生とかかわって来るのだが、そんなことも議員は知っているのだろうか。

(70才代男性)

町民の声

「町民の声」の投稿をお願いします。議会事務局まで。

編集室



人命の尊さを踏みにじる凶悪な犯罪が続いています。背景には何かがあるのか。同情の余地は全くなく、犯罪行為そのものに人間性の奥深い恐怖を感じ、身が震える想いを持つ。今後、エスカレートする可能性は否定できない。出生から社会・家庭・自己の責任や生き方を常に問う心の厳しさを保持していきたいものである。物の豊さ・心の貧しさといわれて久しい。結果が重複される時代にあっても、何ごとも過程を大切にしたい。

(吉田 浩一)

議長 片岡 博司
広報特別委員会
委員長 吉田 浩一
副委員長 小川 悠治
委員 安達 勇
委員 大垣 勇